

第29回関西障がい学生支援担当者懇談会（2022年9月16日開催）

【アンケート集計結果】

1～4はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数53名※うち分科会出席者53名）、5～10はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数34名※回収率64.2%）

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
京都大学	1
大谷大学	3
京都外国語大学	3
京都女子大学	2
京都精華大学	3
京都芸術大学	1
京都橘大学	4
京都文教大学	1
京都文教短期大学	1
京都薬科大学	1
同志社大学	2
同志社女子大学	1
花園大学	1
佛教大学	2
立命館大学	1
龍谷大学	1
合計	28

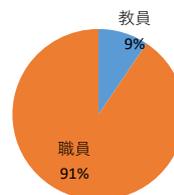
大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
長浜バイオ大学	1
阪南大学	1
四天王寺大学	1
桃山学院大学	3
大阪公立大学	2
大阪電気通信大学	2
大阪大学	3
関西学院大学	2
神戸学院大学	2
神戸松蔭女子学院大学	2
神戸市看護大学	1
神戸女子学院大学	3
奈良学園大学	1
和歌山大学	1
合計	25

1-2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員	5	9.4
2	職員	48	90.6
	合計	53	100.0

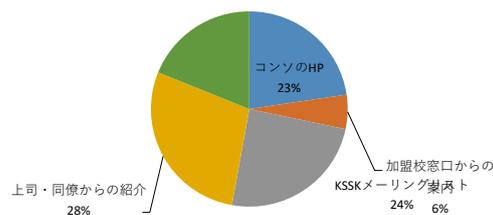
1-2 区分



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

No	選択肢	人数	%
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	12	22.6
2	加盟校窓口担当者からの案内	3	5.7
3	KSSKメーリングリスト	13	24.5
4	上司・同僚からの紹介	15	28.3
5	知り合いからの紹介	0	0.0
6	その他	10	18.9
	合計	53	100.0

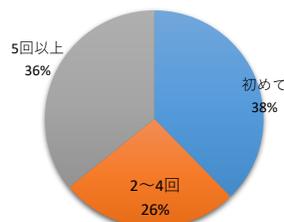
2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？



3. KSSKは何回目の参加でしたか？

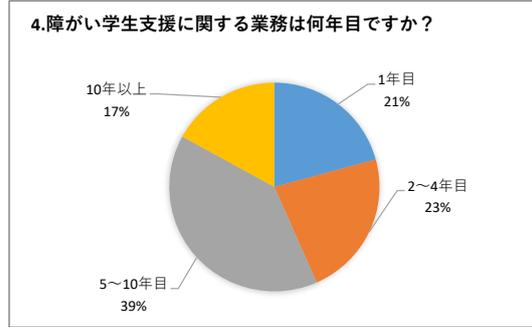
No	選択肢	人数	%
1	初めて	20	37.7
2	2～4回	14	26.4
3	5回以上	19	35.8
4	無回答	0	0.0
	合計	53	100.0

3. KSSKは何回目の参加でしたか？



4. 障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

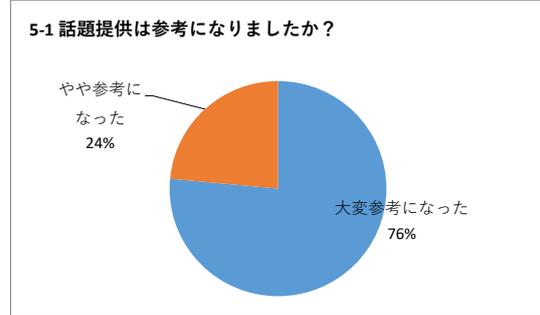
No	選択肢	人数	%
1	1年目	11	20.8
2	2～4年	12	22.6
3	5～10年未満	21	39.6
4	10年以上	9	17.0
5	経験なし	0	0.0
6	無回答	0	0.0
合計		53	100.0



5. 話題提供について

5-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	26	76.5
2	やや参考になった	8	23.5
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		34	100.0



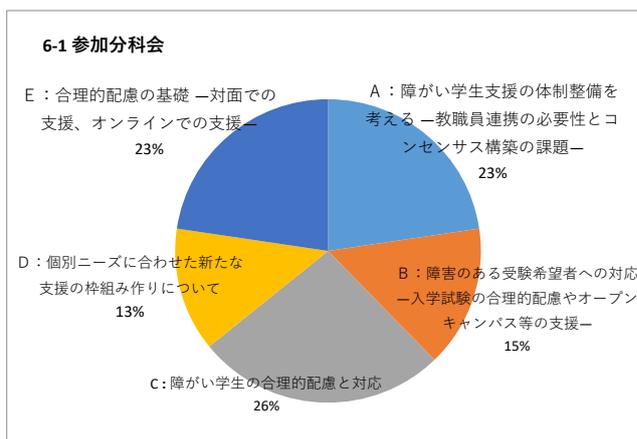
5-2 上記5-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答内容	理由
1	大変参考になった	多職種の方の意見を聞けたから
2	大変参考になった	いつも参考にさせていただいていますが、日々常に情報の更新を確認しているわけではないので、改めてPHEADならびにHEAPのリソースを確認できたことが良かったです。
3	大変参考になった	障害学生支援に関する様々なリソースがあることを改めて知る機会となったから
4	大変参考になった	大学内に限らず地域のリソースを活用している取り組みが参考になりました
5	大変参考になった	学外の先行事例について調べられることがわかったから
6	大変参考になった	初めての参加です。タウンミーティングなどの動きについて知ることが出来た。またプラットフォーム事業が、身近な利用可能な窓口としてイメージすることが出来た。
7	大変参考になった	PHED・HEAPの現状を通じて、大学における障がい学生支援の全国的な到達点を知ることができた。
8	大変参考になった	これから活用できそうな情報でした。
9	大変参考になった	PHEDやHEAPの取り組みについて、実際に話を聞かせていただくことで、WEBで目を通す以上に理解が深まったため。
10	大変参考になった	それぞれの活動内容について詳しく知ることができました。業務の中で迷ったり、悩んだりした時に、どのような情報が共有されていて、相談できる場所がどこなのか明確になりました。
11	大変参考になった	PHED・HEAPそれぞれの最新の状況を知ることができたため。
12	大変参考になった	初めて参加させていただきました。地域包括連携のお話は本当に実現できるようになると素晴らしいと思いました。
13	大変参考になった	就労に関する取り組み（プラットフォーム形成）について、両事業の情報を得ることができたため
14	大変参考になった	2つの団体の位置づけがよくわかった
15	やや参考になった	既知の内容ではあったが、改めて学び直し、学内にも周知啓発を行っていかうと感じた次第です
16	大変参考になった	PHEDとHEAPの情報は体制整備や事例検討の場面で、読み直し立ち返ることができる情報であるため、改めて全体を見直す機会が得られました。
17	大変参考になった	改めて現在の事業について分かりやすくお話いただき、日々の業務に役立つ情報を整理できました。
18	大変参考になった	今まで知らなかったプラットフォーム事業の例について研修することができたから。
19	やや参考になった	プラットフォーム事業は幅広く、内容も奥深いものだと感じたので、せっかくの機会ですので、もう少し説明のお時間があっても良いかと思いました。
20	やや参考になった	既にお知らせを頂き、HPで公開されている内容を確認する事ができました。
21	やや参考になった	最新の動向が知れたから。
22	大変参考になった	さまざまな事業と情報発信が行われていることを知りました。業務に追われる毎日ですが、定期的にホームページ拝見し、支援に関するヒントを探していきたいです。
23	大変参考になった	プラットフォーム事業について再確認できた。HPからほしい情報を得られた。

6. 分科会について

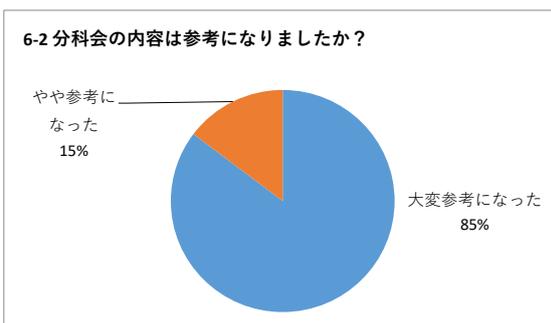
6-1 参加分科会（アンケートではなく受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	A：障がい学生支援の体制整備を考える－教職員連携の必要性和コンセンサス構築の課題－	12	22.6
2	B：障がいのある受験希望者への対応－入学試験の合理的配慮やオープンキャンパス等の支援－	8	15.1
3	C：障害学生の合理的配慮と対応	14	26.4
4	D：個別ニーズに合わせた新たな支援の枠組み作りについて	7	13.2
5	E：合理的配慮の基礎－対面での支援、オンラインでの支援－	12	22.6
	合計	53	100.0



6-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	29	85.3
2	やや参考になった	5	14.7
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
	合計	34	100.0



6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。

◆『A：障がい学生支援の体制整備を考える－教職員連携の必要性和コンセンサス構築の課題－』

No	回答	記述
1	大変参考になった	日常の疑問や違和感をどこにも出すことなく目の前の仕事に追われているので、今回のような場で他大学担当者の皆さんのお話が聞け、また聞いて頂ける場合は本当に貴重だと感じました。文化や慣習が社会的障壁になることを改めて認識しました。
2	大変参考になった	対面で、様々なお話を伺ったり、アドバイス（やヒント）をいただけたので
3	大変参考になった	分科会の人数が適切で時間も十分確保されていたため、理解を深めることができたから。
4	大変参考になった	各大学の取り組みや実態を知ることができただけでなく、村田先生から国の動向（見込み）などの情報提供をいただくことができ、大変有意義な時間となりました。
5	やや参考になった	他大学の状況や、障がい学生支援の課題を確認することができました。
6	大変参考になった	重要な視点の再確認ができ、意見や情報を時間をかけて交換できた。

◆『B：障がいのある受験希望者への対応－入学試験の合理的配慮やオープンキャンパス等の支援－』

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学の現状を確認した後に、解決策を参加者で検討することができた
2	やや参考になった	各大学の現状を情報交換することができた。各大学の入試担当者の出席もあればよかった。
3	大変参考になった	本学で実施予定の業務について他大の様子を知り参考になったから。
4	大変参考になった	他大学の事例や、異なる立場・視点からの意見を伺い、自分自身の気付きと本学における課題が見えてきた。

◆『C：障がい学生の合理的配慮と対応』

No	回答	記述
1	大変参考になった	多職種の方の意見を聞いたから
2	大変参考になった	他大学や多職種の方の対応方法を伺い、勉強になり参考になったから
3	大変参考になった	多職種の方の経験、視点からの話がとても参考になりました。
4	大変参考になった	事例を通して、規模や体制の違いはあっても、同じような課題を抱えていることを共有でき、気持ちが少し軽くなったため。
5	大変参考になった	他学の状況を教えていただき、1年生からの丁寧なかかわりが信頼関係を構築していくことに繋がること、適性について話し合っていくことのむつかしさを感じました。
6	大変参考になった	多くの情報共有ができた。

◆『D：個別ニーズに合わせた新たな支援の枠組み作りについて』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	個別のニーズに合わせた大学の取り組みというよりコーディネーターが真摯かつ気概をもって奮闘している状況を共有できたことが良かった。
2	大変参考になった	どこの大学も悩みながらいろいろな取り組みや工夫をおこなっていることがわかりました。
3	大変参考になった	参加者が少人数で話しやすい雰囲気であった。
4	大変参考になった	全盲の学生に対する対応の具体的な方法やナレッジについてご教示いただけたので。

5	大変参考になった	改正法に向けた準備の進み具合や細かいサポートの方法などを共有でき、今回も素晴らしい学びの時間となりました
6	大変参考になった	初めて受け入れる可能性のある障がいを受験前面談に接している大学もあり、機器設備環境、支援開始時期、受験前面談の対応等について大学間での有益な情報共有になりました。
7	大変参考になった	各大学で工夫をされていることをお聞きし、自分1人では気が付けないことや調べても出てこないような細やかな知識を得ることができ、KSSKならではのことで実感しました。

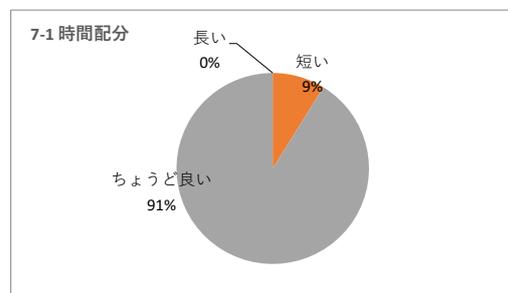
◆『E：合理的配慮の基礎 一対面での支援、オンラインでの支援一』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	現場の方々の仕事を伺うことができたから
2	大変参考になった	他大学における現場実態を共有できた。
3	大変参考になった	幹事としての参加でしたが、自身が参加者と同じ立場だったため、レクチャーの内容がとてわかりやすく勉強になりました。また、他大学でも同じような悩みがあることや、それぞれの対応例などを知ることができ、大変参考になりました。
4	大変参考になった	大変分かりやすく、紹介事例や参加者からの質問など、私に対応している学生の顔が浮かびながらうなづくことばかりでした。このように他大学の方と情報共有、具体例などをうかがえる機会は大変ありがたいと感じました。また、自身の対応を改めて振り返ることもでき、大変勉強になりました。
4	大変参考になった	他大学の方に、気軽に色々な事を尋ねられる良い懇談会であった。
5	やや参考になった	学びたい内容と合致した分科会でした。また現場の職員の方との情報共有も大変有意義な内容でした。ただ、最後名刺交換の時間が設定されていたのですが時間が押して実施できず、その点のみ残念でした。全体のまとめの際、名刺交換会の時間を設けていただくと横のつながりもでき、この会以外のところでもお互いに相談できる関係が築けて良かったのではないかと思います。

7. 懇談会全体について

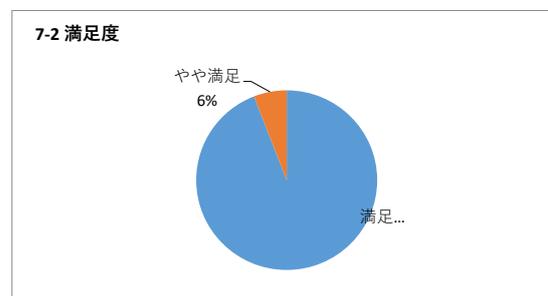
7-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	0	0.0
2	短い	3	8.8
3	ちょうど良い	31	91.2
4	その他	0	0.0
5	無回答	0	0.0
合計		34	100.0



7-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	32	94.1
2	やや満足	2	5.9
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		34	100.0



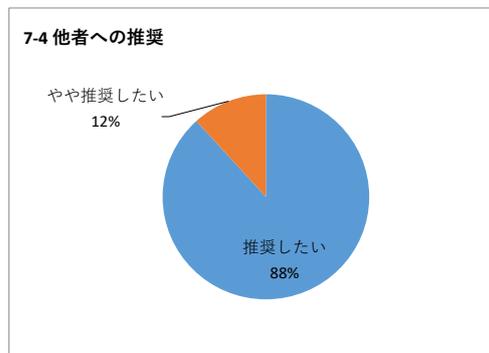
7-3 上記7-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	対面で生の声を聞けたから
2	満足	仕事上のストレスやしんどさは自分だけじゃないと思えたから。
3	満足	知らないことがあり勉強になったから
4	満足	経験年数に限らず新しい視点を得られるから。
5	満足	まだまだお聞きしたいことがたくさんありました。実際に対面でつながることが出来た担当者の皆様と、今後も同じネットワークの中で頑張っていけたらと心強く感じました。
6	満足	対面でよかったです
7	満足	この課題に取り組む集団がまだ小さくなく、相互に協力しあいながら、専門家集団の枠を超えて、社会全体に影響力を持つような取り組みにつながると感じたから。
8	満足	事例検討の時間がしっかりととられていたため、大勢の方の発言に触れられたため。
9	満足	さまざまな知識を得ることができたこと、同じ業務を担当しているみなさまにお会いできたこと。
10	満足	先の質問で回答したとおり、情報共有、意見交換できる場があることが有意義だと感じました。
11	満足	対面の実施により、一層理解を深めることができた。
12	満足	皆さんが情報提供されながら、よりよい支援について話し合える場になっていると思いました。
13	やや満足	久しぶりの対面開催で、合間の時間が有効に使えたため
14	満足	他にコーディネーター関係職が集まる機会がなく、貴重な時間でした。
15	満足	対面ならではの情報共有ができ、zoomでは長いと感じる時間も短く感じました。
16	やや満足	久しぶりの対面実施で、多数の方とご挨拶することができた。

No	回答	記述
17	満足	日頃疑問に思っていたことの多くの課題について理解を深めることができたから。
18	満足	久しぶりに対面での参加ができたこと、皆さんの元気そうなお顔が見ただけで十分に満足です。
19	満足	話しやすい」雰囲気
20	満足	あっという間に終わったと思うくらい充実した時間でした。分科会での懇談もとても有意義でした。
21	満足	分かりやすいお話・説明（話題提供）、話題の投げかけと詳しい解説で話しやすい雰囲気である（分科会）
22	やや満足	同じ業務に関わる教職員で対面で交流できたことが何よりでした。

7-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	30	88.2
2	やや推奨したい	4	11.8
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨したくない	0	0.0
6	やや推奨したい	0	0.0
	合計	34	100.0



8. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	障害学生のキャリア形成について
2	コーディネーターの技術共有（例：アセスメントから支援技術に至るまで）、コーディネーターの体系的な教育課程の検討等。
3	事例検討・多職種連携のありかた・学内体制と具体的役割・大学の規模や、医療系・工学系など学科の特質に合わせた支援体制
4	大学以外の社会組織との連携。教育に関しては実習など、大学以外の組織に依拠している部分があり、障がい学生支援に関して共通の認識と相互協力が必要なので、そういう課題の解決に向けた取り組みについて取り上げてほしい。
5	精神障害、発達障害の学生への配慮や支援について、さまざまな事例を通して学ぶ機会をいただきたい。
6	マネージメントについて
7	防災関連の内容
8	大学規模により支援体制構築の進捗が異なるため、引き続き障がい学生支援の体制整備について取り上げていただきたいです。
9	特にありません。（いろいろあるのでなんでもよいという意味です。）
10	改正差別解消法を読み解く内容を取り上げていただきたいです。合理的配慮の提供義務にあたり、各大学がどのような体制を整備されているのかも知りたいです。
11	分野別（医療学部・教育学部 別等）
12	紛争のケース事例の共有
13	大学規模別の課題等